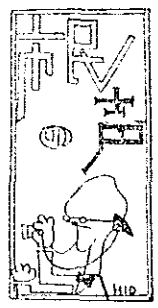


市当局や議会、または個人同士の疑問ならぬご意見をおよせ下さい。
締切り＝毎月二十日
宛先き＝市役所内広報係

用悪水路の完備を

篇生　戸梶邦昭

最近若人が農村を離れて行くのが日増に多くなっており、特に専門の高校を出たものまでが、職を他に求めて離村している現状である。何が彼らをそうさすのか、農業はいかにも重労働であるということも原因の一つにあげられよう。最近は機械化と共に、この問題も幾分かは解消されたといっても、解決されない重労働中の重労働が一つある。

国田に夜水を入れることである。私の耕作している田にも二切れ水利の便が悪く毎年夜水を入れないで終ったことは一度もないほどである。一睡もしない晩が幾晩もつづくほどの重労働が他にあらうか。

その度に百姓はつらいものだと、生後四十年を土と共に生きて来た自分さえつくづく思う。こうした重労働の解決は用水路の完備による以外にない訳である。田園都市として発足した市であってみれば、農業の繁栄なくして南国市の繁栄はあり得ないと考える。

用悪水路の完備。それには資金の伴うことであり、一朝一夕には無理なことだが田園都市南国市の名の為にも、夜水を入れずに農作業の出来る施設をしてもらいたいものである。農繁期も目前に迫り、また今年もこの重労働をくりかえさなければならないかと思うとき用水路の完備を願うこと、また切なるものである。

市議会の無効投票について

……四票の行方を追って……

例の不詳事件に絡む市長の進退問題は四万市民注視の中に、去る二十八日の本会議において辞職勧告案が可決決定され、この旨直ちに市長に通告すると共に、市長また自分は潔白であるから、現段階ではそれに応じられないとの正式の回答があり、これで一応の過程は終ったのであるが、これは人各々の見解の相違であって、今後のことは、市の行政に携わる人達があくまでも市政をよくするという根本理念によって行動するならば、遠からずして時がおのづから新らしい市政の道を教示してくれるであろうとわたしは信じるものである。そのことは関係者の今後の努力に俟つとして、わたしにはただ一つどうしても納得のいかないことがある。

それは去る廿八日の本会議において、辞職勧告案が採決せられた時の無効投票についてである。この件はいち早く高新紙上にも取上げられ、一部議員は議員意識の低調さを暴露したとの新聞報道によって、南国市議の品質が上等でないことのレッテルを全県下的に貼られた訳であるが、当然の責任を果さなかった四名の議員達は、これに対してなんらの弁解の余地はないはずである。

更に投票時の内容を追及してみると、二つの不可解な事態に気づくのである。すなわちその一つは十三名の連署をもって提出された勧告案が、採決の結果いざ開票してみると賛成十二票で一名はすでに心境の変化を来していたという事実であるが、これではまるで局僚議員を信頼することも出来ず、議員間の道義はどこにあるかと問いたいのである。

更にもう一つは貴重な投票用紙にらくがき的なことを書いて投票した議員がいたことである。このような児戯に類した行為には呆れるよりも、公憤を禁じ得ないものがある。

もともと首長に対する辞職の勧告などということは、軽々に出さるべきことでなく、その審議をしなければならないのは、それだけ市政の重大局面を語るものであって、議員各自はあくまでも慎重熟慮して、賛否いずれかに自分の態度を決めなければならない場であったはずだ。四万市民の代表者である議員が、自分の態度を保留するなどというそんな議題の内容ではなかったはずだ。だが現実には日和見主義的な議員が四名もいたのである。このことは誰もが一応記憶に止めておく必要がある。なぜかというにこうした日和見主義的な意識は将来の市議会の運営に大きな不安感を抱かせるものがあるからだ。たとい少人数の権利でもこれを破壊的手段に使うと、時に非常な威力を発揮するものである。このような無自覚によって議会の正道が歪められるようなことがあったらそれこそ大変だが現況ではその危険をなしとしない。

今回のような議員の質の軽重を問われるような愚かな行為は、二度と繰返されてはならないのだしそのためには議員各位の猛省を望むと共に、四万市民も議会の在り方に充分な関心をもって、議員各々の態度を注視する必要があると思う。

十市梨夫

みなさん有難とう

同窓会に故人も出席

昨年霜月の始め、何の予告もなく忽然とこの世を去った主人は、皆様の愛情によって、大切な市会議員として、その職責をつつがなく務めさせていただいておりましたのに、何ら御報いすることもなく逝きました。受けた御恩はいつまでも忘れることなく、必ず御報するというかたい信念を持ってこれからも生き抜いてきただけに、どんなに残念に思っていることでしょう。のこされた私も非常に申訳なく思っております。

去る日。主人の同窓生が四五人御出て下さり、『お彼岸の中日に是非岡林君と同行し、室戸の東寺で同窓会を開きたい』との御話でした。思いがけない申し出に私は嬉しく、友ならではと感激で胸が一ぱいでした。

早速戒名「智徳道薫居士」に写真をそえ、「お父さんよかったですね、お友達と一緒に心おきなく楽しく遊んでいらっしゃい。去年の同窓会の時の様に」と、話かけ受取って下さったお友達の後姿を静かに見送りました。

中日は、丁度よい天気でした。今頃はどこを走っているだろう。もう東寺でみんなと楽しく話合っているのだろうかあの円い童顔を紅潮させて頭振り振り話弁でもやっているのか知ら……などさながら生きているかの様にいろいろ想像してみました。

魂は心ゆくまで楽しんだことと思います。翌朝早々友人から小箱が届けられ、あけてみると台紙にも貼らない粗末な写真が、立派な額におさめられて帰ってきました。心なしか、写真はほんとに満足した嬉しそうな顔きっと楽しい一日だったと思います。この美しく清らかな友情はいつまでも続けて下さることと信じ、何とお礼を申し上げてよいかその言葉を知りません。同窓生の皆様はんとうに有難うございました。

世の中にこのようなともすればわすれがちな、美しい行ないや、友情が、まだまだあるということはうれしいことです。

西島　故茂喜妻
岡林政衛

生徒募集
市立大篠女学院
電話224番
高等部　入学資格中卒程度
授業料　450円
大学部　入学資格高卒程度
和裁　500円　洋裁　700円
洋裁、ご希望で和裁も指導

木材もメートル法へ

素材は大中小三区分

単位は石から立方メートル

「主な改正点」

古い規格では、経六寸未満の針葉樹と八寸未満の広葉樹の素材は適用外になっていましたが、新規格ではこの丸太類もすべて新規格が適用されます。

（素材の材種区分）

旧規格では中、大の二つに分けられていたものが、新規格では小を入れて三区分になりました。

それによると小は十四センチ未満、中は十四から三十センチ未満、大は三十センチ以上です。

（丸太の径）

最小径一万指しは同じですが、偏平材の測定方法は変りました。つまり偏平材では、旧規格は最小径に直角な径と最小径との差が二十%以上の場合は、両径の平均値を径とすることにされていました。しかし新規格では、十四センチ以上の材で最小径に直角の径と、最小径との差が六センチ以上あるものはその差六センチごとに、最小径に二センチを加えたものを最小径としてとることになりました。

（素材の単位方法）

旧規格では、全部径は五分、長さは五寸飛びの格約寸法をとり、単位寸法に足らないものは切捨てていました。ところが新規格では径が十四センチ未満は一センチ飛び、十四センチ以上は二センチ飛びとし各々の単位寸法に足らない端数は切捨てることにしました。

（素材の計算法とその単位）

材積計算法は、六寸以下の材は、旧規格同様に径の二乗に長さをかける末口自乗法をとっています。六寸以上の材も、新規格では末口自乗法をとっています。

この場合に六寸以上は、材長一尺ごとに五センチを末口最小径に加えたものを径にすることにした。

次に空胴とかこれに準じたくされの体積を、材積から差引くことは新旧規格とも同様です。しかしこの体積の算出方法が、新規格では空胴に準ずるくさりの占める部分の最大径と、これに直角な径との平均を自乗したものに、材の一端にあるときは材長の二分の一を両端にある場合は材長を乗じたものを体積から控除することに改められました。

（右と立方尺の換算率）

一立方尺は
三、六石（二五五才）
一石は
〇、二七八立方尺

知っていますか？

国民年金

届出をしてないと
いづれの年金も支給されません

こんご、こうした事態がおこった場合、届出をされていないと、どうすることもできず、その責任はもてません。

⊙加入していても、掛金（保険料）を納めることが困難な方については、申請によって、保険料の免除を受けることが出来ます、該当する方はすぐ申請して下さい。

⊙年金はみなさんの力によって、次第によい法律に改正されていきます。

今度の改正要点

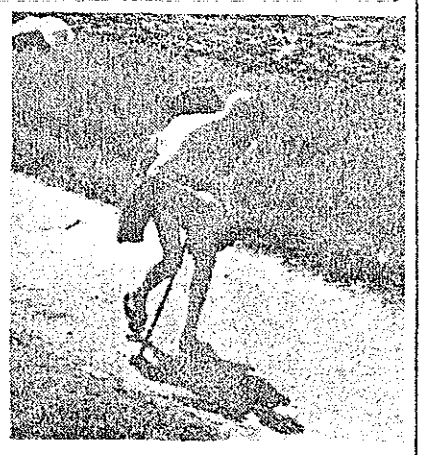
(1)死亡一時金の支給

国民年金に加入していた人が、年金をもらう前に死亡した時は、その保険料はかけ捨てにならず、遺族に死亡一時金が支給されます。保険料を納めていた人が、年金をもらう前に不幸にして死亡したときは、その遺族が、母子年金、遺児年金、寡婦年金がもらえるときのほかは何ももらえなかったが、改正では死亡者の保険料を納めた期間に応じて死亡一時金を支給されます。つまり保険料を三年以上ある人が年金をもらうまえに死亡したときその人の配偶者、子、父母祖父母あるいは兄弟姉妹で生前その人と一緒に暮らしていた人のうち、先順位者に別表のとおりの死亡一時金が支給されます。

(2)老令年金の繰りあげ支給

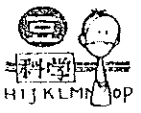
老令年金は60才からでももらえます。今まで老令年金は60才まで保険料を納め65才から支給されることになっていたが、今度の改正で、このような人に対しても、保険料を一年以上納めていれば、65才から70才まで拠出制の老令年金が支給され、70才からは一万二千円の老令福祉年金がもらえます。

（以下三面）



保険料納付済期間	金額
3年以上5年未満	5,000円
5年以上10年未満	7,000円
10年以上15年未満	14,000円
15年以上20年未満	21,000円
20年以上25年未満	28,000円
25年以上30年未満	36,000円
30年以上35年未満	44,000円
35年以上	52,000円

自動車の運転



最近どの家にもオートバイの一台位ない家がないぐらいに普及した。なかにはオートバイ三輪など三台ぐらいある家もある。こうなればガソリン代もあんがいばかにならない。自動車類の運転にさいしては少々気をつかうことによってガソリンの節約になる。

車は軽いほどガソリンをくわない、重い車は荷物を積んで走っていると同じである。最近の乗用車が殆んど車体を一体構造とし、鉄板もさわるとぺこんとへこむ位うすくしてあるのも重量すくなくすることが節約のためである。発進停止はなるべく少くすること発進に際しては急速にふかさないことである。又ブレーキも必要以上に使わないこと。ブレーキを使うと、せっかくのスピードがブレーキで殺になるだけで、ガソリンの損失となる。

馬力を使い、これ又ガソリン喰いになる。冷却水の温度をさげるのを使うと、ねばいオイルを引っかき廻すに以上に渡いもの、言いかえると番数の多いもすぎると、シリンダーの温度が下がりすぎて、ガソリンを余分に喰う。冬自動車の前面を覆って走るのはこのためである。

車輪の空気が少ないと地面とのまさつ抵抗が多くなりガソリンの損失となる。排気管から黒い煙を出して走るのは大きなガソリンの損失である。気化器を調整してエンヂン不調の直前までガソリンをしぼると良い。古いプラグをいつまでも使っていると馬力が出ずガソリンを喰うことになる。悪いオイルを使うとまさつ抵抗が多くなりガソリンを喰うことになる。ボーリング代をケチソて走るのもガソリンの損失となる。まだまだほかにもあるが、以上の点だけでも気を付けて走れば大いにガソリンの節約となる。

鉄空